

## 令和5年度 沖縄県観光功労者表彰受賞者一覧

番号	ふりがな 氏名又は 団体名	年齢 (R5.8.1 時点)	職業又は 団体職	表彰理由
1	あめく ひろみ 天久 弘美	63	沖縄バス株式会社 観光部 観光課課長	昭和53年4月に沖縄バスに観光バスガイドとして入社し、持ち前の明るさと爽やかさをいかんなく発揮し、観光客をはじめ、修学旅行生や県内学生の遠足等々のガイドとして精励した。 ガイドにあたっては沖縄の歴史や文化、伝統行事等の情報収集に努めるなど、模範的なバスガイドとして高く評価された。 平成30年2月に観光課長職へと昇格して以降は後進の指導へと当たりながら、より広い視野で観光業界の発展に寄与した。
2	たましろ まさはる 玉城 正治	80	沖縄料理店「天龍」経営者 那覇市文化協会 顧問	昭和52年に那覇空港ターミナルビル内に沖縄郷土料理店「天龍」を開業し、沖縄本島の空の玄関である那覇空港で本格的な沖縄郷土料理を提供することにより観光客の接遇の向上に尽力した。 また、琉球古典音楽安富祖流絃声会指導者・実演家として数多くの国内外公演に琉球舞踊等で参加し、沖縄文化の魅力発信に尽力した。
3	よしだ せいき 吉田 盛輝	74	那覇大綱挽保存会西一番実行委員会 顧問	昭和49年より西一番旗持ちとして那覇大綱挽に参加し、旗指揮、銅鑼、火砲などの重職を担当するなど、本県の観光資源である那覇大綱挽の発展に尽力され伝統行事を通して沖縄の魅力を発信し、本県の観光振興に大きな貢献をした。 現在は、顧問として後輩の指導・育成に努め、沖縄文化を彩る那覇大綱挽の継承に努めている。
4	沖縄県観光ボランティアガイド 友の会	25	-	当該団体は、平成8年度に実施された沖縄観光コンベンションビューロー主催のボランティアガイド育成事業をきっかけとして、平成9年8月に発足した。 特に、住民を巻き込んだ唯一の地上戦が行われた地で行う、戦時中の避難壕・陣地壕として使用された「ガマ・壕」の中でのガイドによる平和学習は学習効果・教育効果が高く評価された。 本格的にガイド活動をスタートした平成10年度から令和4年度までの25年間で案内した修学旅行生は延べ390万人に達し、平和ガイドを通して沖縄に対する理解促進並びに観光振興に大きく貢献した。
5	中城村・北中城村 文化財案内人 サークル 「グスクの会」	21	-	平成14年に、世界遺産中城城跡を核とした中城村・北中城村の歴史と文化財の案内を行う団体として発足した。 発足から20年余りにわたって世界遺産中城城跡を訪れる個人や団体の観光ガイドを行ってきたほか、年1回開催しているツワブキまつりでは琉球舞踊や空手の披露、地域の歴史に係る紙芝居の朗読などで地域の文化継承にも努めるなど、観光振興に大きく貢献した。

※団体の年齢欄には設立・発足からの年数を記載しています。